

議会だより ふだい



岩手県普代村議会
No.158
令和4年1月27日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

さあ、私たちの手で



令和4年成人者

12月定例会概要	2ページ～
一般質問	6ページ～
議会視察研修	10ページ～

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和3年度 普代村一般会計補正予算（第7号） 補正額 8,517万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を40億9,099万1千円とするもの。 歳出では、総務費で村へ寄付された旧和村邸の利活用検討に係る基本設計業務委託料50万6,000円増額、地域おこし協力隊1名退任に伴う報酬等89万8,000円の減額など。 民生費は、国庫補助金を活用した子育て世帯（165世帯対象）への臨時特別給付金事業として1,493万5,000円増額など。 土木費の道路維持費は、各地区からの要望等があった村道の修繕工事など計1,174万5,000円増額、河川維持費で上区排水ポンプ浸水対策設置工事の耐震対策へ4,950万円増額など。 一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた事業（追手門学院大学との学官連携や物産イベントなど）が中止となり、総額で550万6,000円減額とした。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和3年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額416万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額を4億596万6千円とするもの。 一般被保険者保険税の遡及還付や令和2年度保険給付費等交付金の返還金確定による増額。	
議案第3号	令和3年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号） 補正額130万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億1,242万1千円とするもの。 人件費の実績見込みによる調整など。	
議案第4号	令和3年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第3号） 補正額524万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億618万1千円とするもの。 茂市地区の給水管布設・堀内簡水導水管等の修繕料や消費税納付金の増額。	
議案第5号	令和3年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第2号） 補正額52万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億2,752万6千円とするもの。 ツアー（番屋めし）対応に係る施設備品・消耗品の購入や消費税納付金の増額。	
議案第6号	令和3年度 普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 補正額50万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を3,030万8千円とするもの。 太田名物魚市場前のマンホールポンプ老朽化に伴う修繕料・清掃役料など。	
議案第7号	令和3年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） 補正額100万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3,073万2千円とするもの。 納付金額の確定による保険基盤安定負担金の減額。	
議案第8号	普代村過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定 過疎地域特別措置法の適用に伴うもの。過疎計画の区域内において、要件を満たす事業の設備取得等をした場合、対象資産に係る固定資産税について、3年間の課税免除の適用を受けることができるもの。	
議案第9号	普代村職員のサービスの宣誓に関する条例及び普代村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 地方公共団体における押印見直しマニュアルが制定されたことに伴い、押印等の省略に関する所要の整備。	
議案第10号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更に関し議決を求めること 令和4年3月31日をもって、陸前高田市及び大船渡市営林組合が解散することに伴う所要の整備。	
議案第11号	岩手県沿岸知的障害児施設組合の解散に関し議決を求めること 令和5年3月31日をもって組合を解散するもの。	
議案第12号	岩手県沿岸知的障害児施設組合の解散に伴う財産処分に関し議決を求めること 議案第11号の組合の解散に伴い、所有する土地・建物等の財産処分を行うもの。	
議案第13号	岩手県沿岸知的障害児施設組合規約の一部変更に関し議決を求めること 議案第11号の組合の解散に伴い、事務の承継等に関する規約の一部変更。	
議案第14号	旭日区地域活動拠点施設解体及び建築工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めること 設計内容変更のため契約金額を4,950万円から5,101万6,900円に変更するもの。 請負者は、日向建築。工期は、令和4年3月25日まで。	



はまゆり子ども園の園児と保育士

12月
定例会

子育て世帯臨時特別給付金など

9331万円を増額！

村議会第9回定例会（12月定例会）が12月10日開会されました。内容は、令和3年度一般会計と6特別会計の補正予算、固定資産税の課税免除に関する条例の制定など14議案が審議され、全員賛成で原案可決しました。

一般質問には4議員が登壇し、漁業者救済など村の考えをただししました。そのほか、議会視察研修報告などの内容をお届けします。

一般会計
補正予算

補正予算で
8518万円増

▽令和3年度一般会計補正予算（第7号）
 歳入歳出に8517万8千円を増額し、総額で40億9099万1千円としました。主な歳出は、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業1493万5千円、村道補修工事736万2千円、

浸水対策ポンプ設置工事4950万円の増額です。給付事業は、コロナの影響を受けた子育て世帯287名への給付金5万円や給付に伴うシステム改修費用などとなります。

村道補修工事は、村政懇談会で要望のありました堀内漁村センター駐車場の未舗装部分の舗装工事などを行います。

浸水対策ポンプ設置工事は、ボーリング調査にて耐震対策が必要となり、地盤強化工事などを実施します。

旧和村邸の
活用策検討

村に寄付された旧和村邸の具体的な活用方法を検討するため、50万6千円で基本調査を行い、今後の活用を検討します。

活用方法は、移住者の住居や村民の交流拠点が想定され、飲食店営業ができるキッチンを備えることで大人数での会食や迎賓館としての機能のほか、ハイカーの休憩所としての活用も考えられています。

議案質疑

議案第5号

トレイルツアーの内容

森田幸一 議員



問 旅行会社クラブツーリズムのツアーの参加者数など内容を伺う。

答 山崎休養施設管理員

観光庁の地域内連携事業を利用して、事業主体の青の国ふだいがクラブツーリズムへ委託し二泊三日のツアーを実施した。12月に2回行い、27名の参加であった。

予算には、太田名部番屋での番屋飯提供にかかる消耗品代などを計上している。



ツアーの様子

議案第1号

職員採用の増員理由

古沼和也 議員



問 職員採用について、上級事務1名で募集されていたものが、再募集では上級事務2名、初級事務1名と増えた理由は何か。

答 川向総務課長

最初の募集では応募がなく、その後、中途退職があったことや来年度の体制を見越し、3名の募集とした。



職員の様子

議案第8号

固定資産税の免除対象者の要件

大上智 議員



問 課税免除対象者は村内外を問わないのか。

答 山田税務出納課長

村内外を問わず、村内に該当資産を持っていれば対象となる。

森田幸一 議員
① 普代の漁業の現状と課題解決策

中上一登 議員
① 経済状況や救済措置
② 小中一貫教育と小中一貫校建設

大上智 議員
① 普代村公共施設等総合管理計画

嵯峨典行 議員
① 漁業者救済
② 看護師、保育士、介護士の待遇改善

次のページは一般質問です。一般質問には4人が登壇し、村の課題など当局の考えを問いました。質問者と内容は次のとおりです。

議案質疑

議案第1号

旧和村邸の活用策

金子泰男 議員



問 旧和村邸の活用に伴う基本設計業務委託料50万6,000円の内容を伺う。

答 森田政策推進室長

大変貴重な物件であり、津波防災の歴史の活用、交流拠点、あとは移住者の住まいづくり等の活用をイメージしており、そのための概算設計をしていただくもの。



活用が検討される旧和村邸

議案第1号

排水ポンプの能力

金子泰男 議員



問 浸水対策ポンプ設置工事について、泥に対してどの程度の対応能力があるのか。

答 太田治水対策室長

石や木を捕捉する機能があるため、少々の台風であれば泥のようなものは対処できる。しかし、令和元年の台風第19号レベルであれば難しい面もある。

議案第1号

上区の橋梁復旧

中上一登 議員



問 令和元年台風第19号で流失した上区の深渡地区の橋梁復旧は。

答 大村建設水産課長

農道として整備された橋であったが、現地確認をいただいた結果、災害復旧事業での復旧は不可とされた。橋の代替道路の整備を進めることとしている。

議案第1号

給付金は現金で

嵯峨典行 議員



問 子育て世帯への臨時特別給付金の給付方法を伺う。

答 道下住民福祉課長

先行給付として現金5万円を12月中に給付し、残りは来春早めにクーポン券ではなく現金で給付できればと考えている。

※現在、現金10万円での給付が令和3年12月末から実施されています。



はまゆり子ども園で遊ぶ園児



村内経済の活性化につながるか



漁業者の救済を

操業経費の利子補給を検討

―― 榎屋村長

嵯峨典行



記録的な不漁となっているサケ



散歩中の園児と保育士

質問 令和3年度の村の漁業は大変厳しい状況である。春のワカメ漁は病虫害により大部分を廃棄し、すき昆布に至っては価格の暴落により手取りはほとんどない状況と聞いている。期待を込めた秋サケ漁はかつてないほどの大

不漁に見舞われ、さらに燃油代の高騰により経営を圧迫している。そこで、定置・磯建ての漁業者に燃油代の補助がでないか村長に伺う。

答弁 榎屋村長 漁業経営は、極めて厳しい状況が続いてい

ることは認識しているが、不漁分の直接的な収入所得補填は難しいものと判断している。しかし、不漁対策に資する施設・設備への補助、もしくは操業経費借入金分の利子補給については、漁協と相談をしながら対応するように努めたい。

保育士等の待遇改善を

質問 政府においては、看護師・保育士・

また国の補正予算で「漁業経営セーフティネット構築事業」として影響緩和のための補填金を交付する制度を構築予定としており、その詳細など国の動向を注視している。

答弁 榎屋村長

村としては、国の給料表が改定などされることになれば、これを適用することで引き上げに取り組んでいくことになる。民間施設は、賃上げに必要な予算が国から措置された後に各施設で検討がなされるものと考えている。



大上智

魚市場・一貫校舎 建設計画は

市場6・校舎9年度供用予定

―― 榎屋村長

質問 新たに整備が予定されている魚市場・小中一貫校舎建設について、優先度を踏まえた上での計画は。

答弁 榎屋村長 実施計画において、魚市場は、令和4年度実施設計、令和5年度と6年度前半の工事、令和6年度中の開設予定。

一貫校舎は、令和4年度から5年度に実施設計、6年度後半から7年度末まで概ねの工事、8年度に備品整備・雑工事、9年度当初の開校としている。

質問 建設による将来負担率予想は。

答弁 川向総務課長 公債費・教育関係積立基金等を踏まえた財政計画で、将来負担を考えながら取り組む。

質問 現在の公共施設は何棟・何施設か。

答弁 榎屋村長 223棟・11

質問 公共施設管理計画は

答弁 榎屋村長 現在の公共施設管理計画は、約100施設と

なっている。施設は、30年目で大改修、60年目で建替えという目安で管理計画を図っているのか。



老朽化が目立つ魚市場



宿泊施設として使用されていた旧まついそ

現在の調査の評価結果を基に優先順位を持ち、費用等を考慮しながら計画的に解体や長寿命化の対応を図っていく。

質問 管理計画改定作業の進捗状況は。

答弁 榎屋村長 老朽化などの評価の一次評価、今後の方向性を定める二次評価まで終わり、それを検討する最後

の作業を行っており、3年度中に公表する予定である。

質問 廃墟化した公共施設を廃止するなどの、次世代の子供・孫たちに大きな負担を残すべきではない。管理計画の具体的な施策はいつ示されるのか。

答弁 川向総務課長 現在、調査・検討をしております、3年度内に示せると思う。



中上一登

コロナ困窮の救済策は

国・県と連携し対応

証屋村長

質問 新型コロナウイルス感染症による経済的ダメージによって商店、飲食店、観光関係は厳しい状況にある。さらに定置網の不漁も経済に大きく影響してくるものと思われる。

答弁 本村経済の状況と困窮者救済の考え方について伺う。証屋村長

本村でも新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、3年度に県で実施している3カ月間の売り上げが30%以上減少や1カ月で50%以上減少の事業者への経営支援金事業に村内25の事業者が該当する状況になっている。商工会が独自に行った元年度との売り上げの比較調査においては、令和2年度より3年度が落ち込んでいる結果となっている。

定置漁業は、3年続きの記録的な不漁により考えられない水準まで落ち込んでおり、加工・流通業界とその雇用者等々にも影響が出ている。

コロナ禍の影響による困窮者の救済は、国において雇用保険や住宅確保給付金、学生等の経済支援や持続化給付金、生活福祉資金の特例貸付なども実施し、一定のセーフティネット対応を行っている。村内での困窮者の発生状況や要因など把握に努め、国・県のどのような支援が効果的で活用できるか周知しながら、必要に応じて各市町村の取り組みも見合わせ救済に取り組んでまいりたい。

質問 漁業は危機的状況にあり、漁業のあり方を考えていかなければならない状況だと思う。盛岡市が国に意見提出をしたように、各市町村で団結して国や国会議員に要望する動きはないのか。

答弁 証屋村長 いろいろな政党から重点要望事項の聞き取りをいただいている中で、漁業の厳しい状況や交付金の増額を伝えている。町村会としても国・県にコロナ対策の要望をしている。

小中一貫教育と学校建設

質問 構想が出て10年、教育長が就任して7年経過した今も推進されていないことについて教育長の思いを伺う。

答弁 三船教育長 村政に係る中長期的・重点課題に係る政策協議の中で、今まで進めてきた小中一貫校と義務教育学校とを比較検討し、本村にとってどちらがいいのか、学校建設用地検討委員会報告書の建設予定3候補地の検討とも併せ、既存の学校施設の耐用年数を精査することで11月から内部検討に入っている。ここ数年、台風被害、コロナウイルス感染症拡大と不測の事態も続き、建設計画も足踏み状態となっている現状である。

質問 「子供と教員の安全のための学校移転」という考え方であれば早く進んだのではないかと。

答弁 証屋村長 小学校の運動場

のかさ上げ、中学校避難所へのかさ上げ連絡路、そして三陸沿岸道路への避難階段の整備をしており、可能な限りの「安全」の措置は講じている。一体型一貫校になるか、義務教育学校校舎となるか、令和6〜8年度の3カ年で建設工事から備品整備まで行い、9年度当初の開校目標で取り組みたい。



普代小学校



森田幸一

サケの漁獲減対策は

育てる漁業を推進

証屋村長

質問 日本の漁業生産量は、昭和59年の1282万トンをピークに減少傾向にあり、平成30年には442万トンまで減少している。

岩手県の定置網漁業の主力漁獲物であるサケについては、平成8年の7万3000トン、平成29年には7109トンにまで減少。普代村のサケの漁獲高は、令和3年11月30日の時点で4803尾、金額で1500万円という状況であり、漁師からは「このような状況だと漁師をやってられない」と聞いている。村の漁業課題に向けた取り組みについて伺う。

答弁 証屋村長 記録的な不漁に直面している本村を含む県内市町村の漁業が持続するために、単一的な魚種・漁法に頼るばかりでなく、いろいろな操業や取り組みを行うといった環境変化への対応と操業体制や漁業経営の確立に努めることが重要である。



太田名部魚市場付近



痩せたウニへの給餌をできないか

養殖漁業では、一部未利用漁場の漁協自営での活用によって、ワカメ・コンブの増産とそこでの新規漁業者の養殖実践により先々の養殖漁家の減少に歯止めをかけることも労働力不足の解消のため外国人研修生の活用などを行っている。これらと合わせて、定置漁業では、共同経営漁場が持続されていくよう各漁場の経営状況によっての自営化や作業の共同化などのあらゆる方策を模索・実践していくことが必要と考えている。

また、漁港ストックの活用や効果的な給餌により、つくり育てる漁業をより推進するとともに、民間企業などとの連携によるこれまでに扱ったことのない魚介類の養殖実験や漁業体験活動などの積極的な展開をしていくことも将来的な持続化につながるものと考えている。

質問 漁家の方から「市場に揚がるものが少ないのに新しい市場を何億円もかけて造る気なのか」と聞いたことがある。極端な意見かもしれないが、市場建設の予算をほかの漁業施策に使って漁家を守る必要があるのではないかと。

答弁 証屋村長 そういった意見があるのも聞いている。現状での判断は非常に難しいが、漁獲が回復した先々のことを考えて施設整備しておくことも漁業者のためになると考えている。

11月17日と18日の2日間、岩手県と宮城県において議会視察研修を行いました。

17日には、宮古市漁協高浜水産研究センターにてホシガレイの陸上養殖、宮城県登米市の道の駅三滝堂にあるRVパーク（車中泊専用の駐車場）、宮城県石巻市のいしのまき元気いちばを視察しました。

翌日18日には、石巻市の石巻魚市場、南三陸町にある大丸カイエイ株式会社の銀ザケの陸上養殖、気仙沼市のお魚いちばを視察しました。

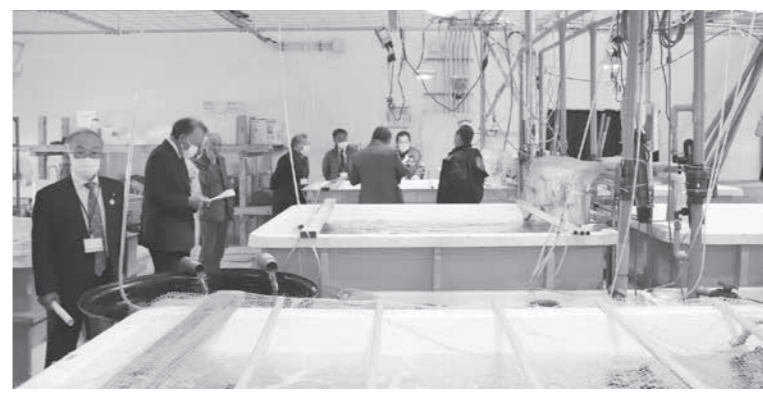
視察結果について、10～11頁で報告します。

幻の高級魚

ホシガレイの陸上養殖

宮古市漁協の高浜水産研究センターでは、幻の高級魚と言われるホシガレイの陸上養殖を行っており、海水を循環させる閉鎖循環式で2トンの水槽6基にカレイの食欲が進む緑色のLEDライトを照射する環境で養殖を行っていました。

第1期の飼育期間は約1年から1年半で出荷サイズは700～900gと成長がよくなかったため、1kg以上を目指しているとのことでした。宮古市が事業主体となり漁協に業務委託をしており、業務委託費は1期目で790万円、2期目430万円、3期目で490万円。出荷生産量が少ないため販売単価に大きな変動があり、量産体制が可能となった際の単価での安定した販売方法を模索しなければならないとのことでした。



魚市場建設の参考になるね



村でも何かの陸上養殖ができないかな



普代ブランド銀ザケなら「ギンビマ」



高度衛生管理型の

石巻魚市場

宮城県石巻市の石巻市水産物地方卸売市場は、総事業費191億円（全額国庫）、全長約876mもある巨大な市場です。HACCP（ハサップとは、製品の安全性を確保する衛生管理の手法）認証は取得していないものの、衛生管理基準レベル3に対応する高度衛生管理型の市場となっており、天窗による自然採光や鳥獣疑似音声による鳥撃退システムなどさまざまな設備が設けられています。また、漁業種別ごとに底引き網漁業・旋網カツオ漁業・定置網ゾーンなどの6ゾーンに区分けされているほか、場内排水は直接海に放流せず排水処理施設を通しています。

太陽光発電および蓄電池電力を利用し省エネに努めているとのこと、課題として蓄電池容量が少ないためにもっと大きくしてもよかったとのことでした。



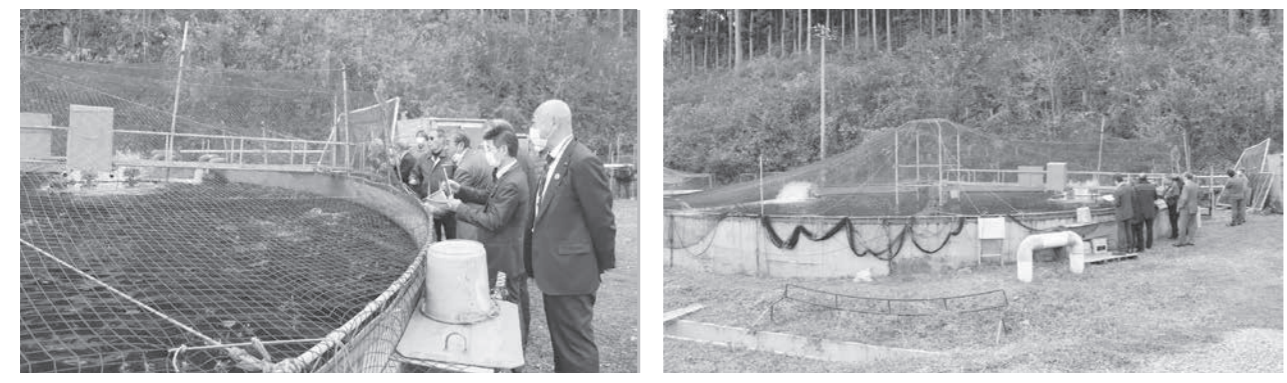
今話題の

銀ザケの陸上養殖

岩手県遠野市や宮城県南三陸町など3カ所に養殖場がある大丸カイエイでは、自社ブランド銀ザケ「桜銀（おうぎん）」を陸上養殖するほか、150g前後の稚魚を宮城県漁協や久慈市漁協などに出荷しています。

銀ザケは年間水温20度以下でなければ養殖ができず、今は宮城県が主産地ですが、温暖化によりだんだんと産地が北上化する可能性があるのではないかとのことでした。水温調整は、比較的水温が安定している地下汽水と地下水両方を使用しているとのこと。また、えさは固形のものを使用した方が清掃も楽で、魚の味の8割方がえさで決まるとのことから、オリジナルえさの開発が重要とのことでした。

なお、外洋で海上養殖が無理であれば、大規模でなくても国の補助事業を活用し、えさ等を工夫して地域の特色を生かしたブランド化を図り、飼育から製品販売まで6次産業化として陸上養殖を行うのもよいのではないかとのことでした。



議会の動き

(9月定例会～12月定例会諸報告分)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
9月15～17日	役場	村議会第7回定例会	各議員
15日	役場	総務常任委員会	各委員
17日	役場	議会運営委員会	各委員
21日	役場	北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会監査	議長
22日	久慈市	(仮称) 広域道の駅整備工事起工式	議長
10月5日	役場	議会広報常任委員会	各委員
13日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会	大上智・森田議員
18日	村内、役場	議員村内視察、議員タブレット研修、議員全員協議会	各議員
19日	盛岡市	第31回町村議会議員シンポジウム	大上智議員
25日	役場	議会広報常任委員会	各委員
27日	久慈市	第9回久慈広域連合議会定例会	大上智・森田議員
28日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会議員全員協議会、定例会	正路議員
11月1日	黒崎	「陸中黒崎灯台」ライトアップイルミネーション点灯式	議長、副議長
15日	東京都	全国過疎地域連盟第52回定期総会、鈴木財務大臣表敬訪問	議長
17～18日	宮城県石巻市ほか	議会視察研修	議長、副議長、嵯峨・大上浩史・大上智・古沼・中上・森田議員
19日	久慈市	八戸・久慈自動車道完成記念大会	議長、大上智産業経済常任委員長、中上・正路委員
25日	盛岡市	岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会、全員協議会、11月定例会	中上議員
26日	役場	議会運営委員会、村議会第8回臨時会	各委員、各議員
29日	役場	野田村議会「議会改革等に関する調査特別委員会」のタブレット導入状況視察	副議長、古沼議員
30日	久慈市	久慈地区市町村議会連絡協議会議員研修会	各議員
	くろさき荘	普代村しいたけ推進協議会受賞報告会懇親会	議長
12月2日	盛岡市	町村議会広報担当者研修会	大上智議員
4日	宮古市	国道340号宮古岩間整備促進住民総決起大会	議長
6日	役場	議会運営委員会	各委員

11/26 第8回臨時会

審議した案件は、令和3年度一般会計補正予算（第6号）と一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正のほか、林道堤線災害復旧（1号）工事の変更請負契約に関する専決処分の報告を全員賛成で可決しました。

▽令和3年度一般会計補正予算（第6号）

補正額1億3,598万1千円を増額し、総額を40億581万3千円としました。
内容は、ふるさと応援基金積立金7,000万円、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業4,175万4千円などが増額されました。ふるさと納税を活用した地域産業促進事業は、ふるさと納税の増額見込みによる返礼品など諸経費の増額となります。
質疑では、サケの漁獲減少に伴い、イクラの調達不足によるふるさと納税返礼品のキャンセル問題が生じないかとの質疑が出ましたが、在庫に応じて返礼品を調整していることと、イクラに代わる商品もあるとの回答を得ました。

▽一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

岩手県の例に準じて、特別職や議員、職員などの期末手当を減額するもの。

▽林道堤線災害復旧（1号）工事の変更請負契約に関する専決処分の報告

設計内容の一部変更に伴い請負契約金額を減額するもの。
変更理由は、擁壁工の施工において、大型土のうを設置する予定だったが、川幅が狭く設置できなかったため152万7,900円を減額した。

11/30 久慈地区市町村議会連絡協議会 議員研修会

久慈地区4市町村の議員研修会が久慈市で行われ、「久慈病院の現状と課題」について、県立久慈病院長にご講演いただきました。講演では、久慈広域では脳血管疾患の死亡要因が多いことと、研修医の確保や病棟機能の適切な運用が課題にあげられました。



研修会の様子

成人おめでとう

V O I C E 未来予想図 Fudai

子どもが増える取り組みを！

まえかわ ともや
前川 友哉さん(20)

今は久慈琥珀で働いています。ぜひ、レストランくんのこをご利用ください！

普代村は自然が豊かで、地域の方々が温かく接してくれます。海の景色がきれいなので、観光にはキラウミがおすすめですね。

村は子どもが少ないので、子どもが増える取り組みをお願いしたいです。今ある子育て支援の制度をより強化して村外に情報発信し、人を呼び込めないものでしょうか。😊

若者向けの特産品がほしい！

みふね もえ
三船 萌さん(20)

今は盛岡に住んでいて、美容師を目指して国家試験の勉強中です。県内で働いてみて、お金がたまったら都会に行ってみたいなと思っています。

普代村は人が気さくに話しかけてくれて、人との距離が近いと思います。くろさき荘が好きで、お風呂から見る海の景色はとてもきれいです。

村の特産品にコンブとワカメがありますが、若者向けの商品もあったらいいなと思います。例えば、牧場があるのでチーズとかどうでしょうか。😊

広報委員からの返信

正路正敏副委員長

ご成人おめでとうございます。久慈琥珀には向うことがありますので、前川さんにお会いできることを楽しみにしています。

さて、子どもが増える取り組みということですが、三陸沿岸道路が全線開通したことで若い人たちが普代に住み通勤できる環境が整いました。議会として、住環境の整備等を村当局に進言しなければと思っています。若い人たち一人一人の心がけ次第で村も地域も輝けると考えております。今後の活躍を期待しています。

古沼和也委員

ご成人おめでとうございます。若者が村の特産品のことを考えてくれていることに感心しました。同じく成人を迎えた石川くんが酪農を目指していると10秒スピーチで言っていましたので、チーズ作りについては彼が適任ですね。😊

若い皆さんから意見を聞いて、いろんな視点から村の活性化を考えていきたいと思っています。従来のやり方にとらわれない若い皆さんの斬新なアイデアが村や社会をよくしていくと思いますので、これからもどんどん挑戦してってください。

議 長	中村裕
副 議 長	嵯峨正典
委 員	大上智行
副 委 員	古沼和也
議 会 広 報 常 任 委 員 会	
発 行 責 任 者	



議 長	中村正裕
副 議 長	正路正敏
議 員	嵯峨典行
	金子泰男
	大上浩史
	古沼和智
	中上一登
	森田幸一

謹んで新春のお喜びを申し上げます。本年が普代村にとって実り多き年となりませうにご祈念いたします

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

